

## ○ 原子力事業所安全協力協定加盟事業所輸送訓練見学会

平成31年2月1日（金）、日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所において、茨城県立消防学校との共催による輸送訓練が行われ、協定加盟9事業所より14名の方が見学に参加した。

大洗研究所の高速実験炉「常陽」の新燃料集合体を積載した車両が国道を走行中、合流してきた乗用車が積載車の左前部に衝突した。乗用車の運転手は運転席とハンドルに挟まれて脱出できず、乗用車のエンジンルームから白煙が発生したとの想定のもと訓練が行われた。

事故発生直後に、新燃料集合体積載車及びその関係車両は路肩に緊急停車した。輸送隊員は、状況確認後、警察署／消防署（ダミー）及び輸送実施本部に通報するとともに、負傷者救出、初期消火、輸送物の損傷状況確認後に立入禁止区域を設定し、初期活動を開始した。

公設消防は、到着後に状況説明を受けた後、放射線の状況を確認する支援隊員に先導され、立入禁止区域での消火活動を行うとともに追突した乗用車の切断（ダミー）を行い、負傷した運転手を救助するとともに火災を鎮火させた。なお、救助された運転手は身体汚染検査を行い、異常のないことを確認した。

最後に、原災法に該当する事象ではないことが確認されて、訓練が終了した。約40分間の一連の訓練を、2つの班が順次行った。



衝突された輸送車両



公設消防による消火活動



負傷者の身体汚染検査